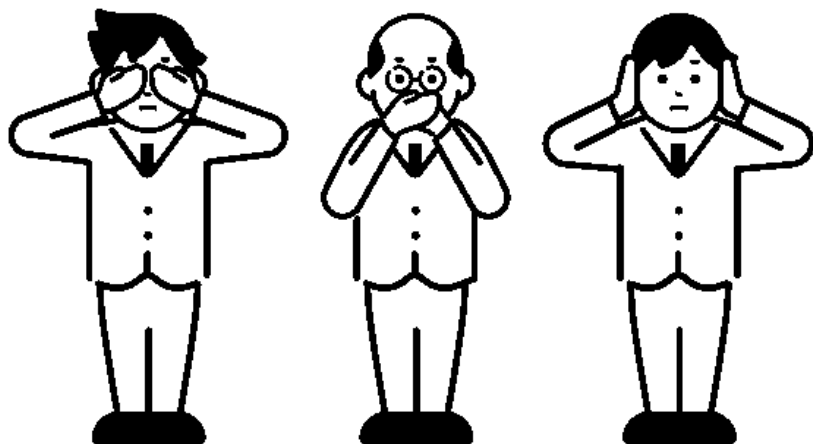


## さいたま市立中央図書館 ブックリスト

# 3



三が日に立てた目標も三日坊主で終わり、三寒四温のこの頃は梅の三分咲きに春を思う……。

身のまわりにある、「3」が使われている熟語・ことわざに関する本を集めました。

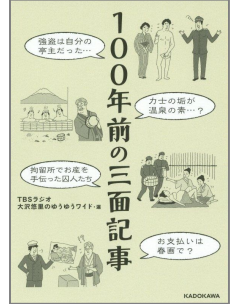
## さまざまな「3」

▲三面記事 新聞の社会面の記事。一般社会の雑多なニュースを扱った記事。

『100年前の三面記事』 TBS ラジオ「大沢悠里のゆうゆうワイド」／選 KADOKAWA 2016年

▲三本の矢 戦国武将の毛利元就が、三人の子どもに授けた教え。

『天命－毛利元就武略十番勝負－』  
岩井三四二／著 光文社 2022年



▲三権 国家の統治権の3種別。立法権・司法権・行政権。

『政治のことよくわからないまま社会人になった人へ 第4版』  
池上彰／著 ダイヤモンド社 2022年

▲三方よし 「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三つの「よし」。

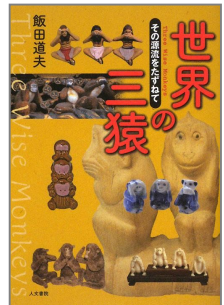
『屋根をかける人』 門井慶喜／著 KADOKAWA 2016年

▲石の上にも三年 たとえつらくてもしんぼう強くがんばれば、やがて報われるということ。

『若者はなぜ3年で辞めるのか?』  
城繁幸／著 光文社 2006年

▲三猿 三様の姿をした3匹の猿。「見ざる・聞かざる・言わざる」の意味。

『世界の三猿－その源流をたずねて－』  
飯田道夫／著 人文書院 2009年



▲三すくみ 三者が互いに牽制し合って、それぞれが自由に動けない状態。

『ジャンケン文明論』 李御寧／著 新潮社 2005年

▲**三杯酢** 酢に醤油と砂糖または味醂(みりん)をまぜた、いくぶん甘味のある合わせ酢。

『「酢」のレシピーなくてはならない調味料ー』

有元葉子／著 東京書籍 2022年

▲**三拍子** 音楽で、三つの拍を一つの単位とする拍子。三つの重要な条件。

『ヨハン・シュトラウス』フランツ・エンドラー／著 喜多尾道冬／訳 新井裕／訳 音楽之友社 1999年

▲**三枚目** 歌舞伎の役柄で、道化方(どうけがた)のこと。転じて、演劇・映画などでこっけいな役をする俳優。

『きょうも涙の日は落ちるー渥美清のフーテン人生論ー』渥美清／著 展望社 2003年

▲**三冠王** 野球で、1シーズンに首位打者・打点王・本塁打王の三つのタイトルを獲得した選手。

『嫌われた監督ー落合博満は中日をどう変えたのかー』鈴木忠平／著 文藝春秋 2021年



▲**三顧** 目上の人がある人に礼をつくして仕事を頼むこと。劉備の故事から。

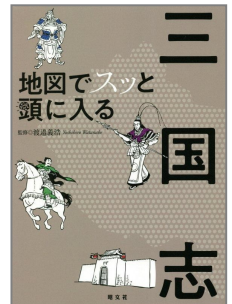
『地図でスツと頭に入る三国志』

渡邊義浩／監修 昭文社 2021年

▲**向こう三軒両隣** 親しく交際する近くの家。

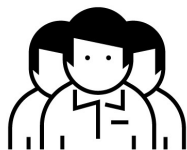
『つまらない住宅地のすべての家』

津村記久子／著 双葉社 2021年



# 三人寄れば文殊の知恵

—3人が主役の小説—



## ▼『三匹のおっさん [1]』

有川浩／著 新潮社 2015年

## ▼『土井徹先生の診療事件簿』

五十嵐貴久／著 幻冬舎 2008年

## ▼『キャベツ炒めに捧ぐ』

井上荒野／[著] 角川春樹事務所 2011年

## ▼『ひとがた流し』 北村薫／著 朝日新聞社 2006年

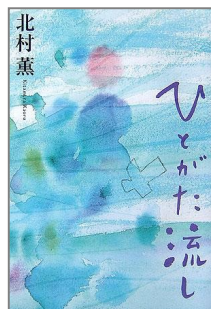
## ▼『キシヤツー』 小路幸也／著 河出書房新社 2012年

## ▼『ズッコケ熟年三人組』

那須正幹／著 ポプラ社 2015年

## ▼『かがやき荘アラサー探偵局』

東川篤哉／著 新潮社 2016年



このブックリストに掲載している図書は、さいたま市図書館で所蔵しています。貸出や予約（順番待ち）ができます。

さいたま市図書館ホームページ <https://www.lib.city.saitama.jp/>

さいたま市立中央図書館 浦和区東高砂町11-1

TEL 048-871-2100 FAX 048-884-5500

このブックリストの書影画像はBOOKデータASPから引用しています。